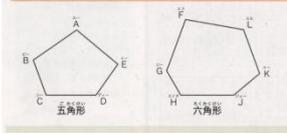


月日 (校時)	単元名	教材名
11月26 (月) 5校時	図形の角	図形の角を比べよう
本時のねらい 本時 (4/7) ○「多角形」を知り、多角形の内角の和の求め方を考え、内角の和を求めることができる。		
評価規準 【考】 三角形の内角の和を基に、多角形の内角の和を三角形に分けて求める方法を考え、説明している。(発言・ノート) 【知】 多角形の内角の和は、三角形に分けることによって求められることを理解している。(発言・ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 13:30	○前の時間のまとめ・振り返りをペアで伝え合いましょう。 ・四角形の角の大きさの和は、 $360^\circ$ でした。 ・三角形に分けて考えると計算できました。	・前時の学習の振り返りをさせる。
【展開】 問題提示 13:32  問いの共有  課題把握 13:38  ・シラバス ・言語わざ  ・見通し  13:45 解決活動 ・1人学び  集団解決 ・班学び ・学び合い 13:53  ・考察 14:03	1 問題を読む。 下の図のような図形について、角の大きさの和を工夫して調べましょう。  ○気づいたことを発表しましょう。 ・五角形は5本の直線、六角形は6本の直線で囲まれています。 ■三角形、四角形、五角形、六角形のように、直線で囲まれた図形を多角形という。(教師)  2 課題を把握する。 多角形の角の大きさの和の求め方を、図や表、式を使って説明しよう。  一人学び (5分)・班学び (5分)・学び合い (10分)・まとめ (3分)・振り返り (3分) 「理由をつけて説明する。」 ○今までの学習から解き方の見通しを立てましょう。 ・三角形の内角の和が $180^\circ$ であることに基に考えると良いです。 ・対角線を引いて三角形を作ると求めることができます。 ・四角形の内角の和が $360^\circ$ であることも使えると思います。  3 五角形、六角形の内角の和を求め、表にまとめる。 ○多角形の角の大きさの和を工夫して求めましょう。  4 考えを発表する。 ○多角形の角の大きさの和の求め方を話し合いましょう。 ・五角形は、対角線を引くと3つの三角形ができるので $180 \times 3 = 540$ 答え $540^\circ$ ・六角形は、対角線を引くと4つの三角形ができるので、 $180 \times 4 = 720$ 答え $720^\circ$  ○まとめた表や話し合いから多角形の角の大きさを求めるときにはどのようにすればよいと言えるでしょう。 ・一つの頂点から対角線を引き、三角形に分ければ良い。 ・表を見ると、 $180^\circ$ ずつ角の大きさの和が増えている。 ・多角形の角から2を引いた数が三角形の数になっている。 ・多角形の中にできる三角形の数が分かれば角の大きさの和を求めることができる。 	多角形 直線 和  ・角がいくつあるかで図形の名前が変わることを確認する。  角度 三角形 $180^\circ$ 四角形 $360^\circ$ 対角線 頂点 三角形  ・対角線を引き三角形に分けると求められることを図を基に捉えさせる。  ・グループリーダーに各班でできたことを説明させ、共有する。  【考】 三角形の内角の和を基に、多角形の内角の和を三角形に分けて求める方法を考え、説明している。(発言・ノート)  ・多角形も四角形と同様いくつかの三角形に分ければ求められることや三角形に分ける考えの良さに気づかせる。
まとめ 14:05	多角形の角の大きさの和は、三角形 (四角形) に分けて計算すると求められる。	
【終末】 振り返り 14:10 適用問題 14:15	5 学習したことを振り返る。  6 適用問題に取り組む。(P,28 △3)	【知】 多角形の内角の和は、三角形に分けることによって求められることを理解している。(発言・ノート)